

AlliedView NMS R14 Enterprise Editionはネットワークマネージャー、デバイスビュー、コンフィグレーションマネージャー、ログビューが一体となったトータル監視・運用サービスソリューションソフトウェアです。

従来のソフトウェアでも実現していたネットワークの死活監視や、デバイスのステータス管理にとどまらず、EPSR リングを用いた構成管理や機器の設定情報、ファームウェアのバージョンアップといった各機能が連動した運用・管理を実現します。

※本製品をご購入の際には、有償サポートサービスの契約が必須です。

特長 仕様 データシート PDF



AlliedView NMS EE 基本パッケージ (100)-W5

コード： 90729W5

販売終了

AlliedView NMS Enterprise Edition 基本パッケージ (100)

コード： -----

販売終了

ダウンロード マニュアル

特長

■ 多彩なネットワークマップ

物理的なネットワークポロジの表示を行う「物理ネットワークマップ」、VLAN 情報の表示を行う「VLANネットワークマップ」、IPv4ネットワークポロジの表示を行う「IPネットワークマップ」をサポートします。

■ 冗長構成管理

SwitchBlade x908、AT-x900シリーズ、AT-x600シリーズとの組み合わせでEPSR プロトコルによる冗長構成の管理をサポートします。マップ上へEPSR リングのステータスを反映させることが可能です。

■ ログ・イベント管理

SNMPを用いたトラップの受信や管理対象のステータスの変更を記録するイベントビューと管理対象機器がSyslogプロトコルを用いて送出するログを管理するSyslogイベントビューをサポートします。

■ 資産管理

監視対象機器のIPアドレスやファームウェアバージョンをリスト化し、表示します。ファイルとしてエクスポートすることも可能です。

■ デバイス管理

・ シャーシビュー

監視対象機器へ導入されているインターフェースモジュールの種別や、そのリンクステータス、リンクスピードを実際の機器を模した画像イメージで表示を行います。

・ コンフィグ管理

監視対象機器で使用されている設定ファイルのバックアップや使用する設定ファイルの導入をサポートします。定期的なバックアップの実行や履歴との照合による差分表示も可能です。

・ ファームウェアの管理

監視対象機器で動作させるファームウェアのインストールをします。即時実行の他に日時を指定してのスケジュール実行が可能です。

■ 製品ラインナップ

コードNo.	製品名	パッケージ内容
90729	AlliedView NMS EE 基本パッケージ (100ノード)※4	ライセンス証書（ソフトウェア使用権許諾契約書）、CD-R（ソフトウェア本体、ライセンスファイル、各種ガイド）、サポートサービスに関するご案内
90731	AlliedView NMS EE 追加ライセンス (400ノード)※1※4※6	
90732	AlliedView NMS EE 追加ライセンス (500ノード)※2※4※6	
90733	AlliedView NMS EE 追加ライセンス (5000ノード)※3※4※6	
90735	AlliedView NMS EE JN ライセンス※1	ライセンス証書（ソフトウェア使用権許諾契約書）サポートサービスに関するご案内

- ※1基本パッケージ (100ノード) のご購入が必要です。
- ※2基本パッケージ (100ノード)、追加ライセンス (400ノード) のご購入が必要です。
基本パッケージ (100ノード) と追加ライセンス (500ノード) の組み合わせではご利用できません。
- ※3基本パッケージ(100ノード)、追加ライセンス (400ノードと500ノード) のご購入が必要です。
基本パッケージ (100ノード) と追加ライセンス (5000ノード) の組み合わせではご利用できません。
- ※4同じ種類のライセンスを複数組み合わせでご利用いただくことはできません。（例：基本パッケージ (100ノード) を2ライセンス）
- ※5インストール後30日間限定でお使いいただける、お試し版をご用意しております（継続使用時はアンインストール後に再インストールが必要です）。
- ▶▶ お試し版ダウンロードは[こちら](#)
- ※6すでに本製品の基本パッケージをお持ちのお客様で、それらの製品に管理対象ノード数の追加ライセンスをご購入される場合、お客様お手持ちの基本パッケージのシリアル番号等をご確認させていただく必要があります。
詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

仕様

【 動作環境 】

CPU	Intel® Xeon® プロセッサデュアルコア 2GHz（Intel Xeon プロセッサクアッドコア 2.4GHz 以上推奨）
メモリー（RAM容量）	4GB以上（8GB以上推奨）
ハードディスク容量	20GB以上（40GB以上推奨） ※10
対応OS※1	Windows Server® 2003、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2003 R2、Windows Server 2003 R2 x64 Edition、Windows Server 2008 (x86)、Windows Server 2008 (x64)、Windows Server 2008 R2
JAVA JRE	Version 1.6.0_16 ～ 1.7.0.21 ※11
ディスプレイ	1280×1024ピクセル以上

【 機能 】

ネットワーク管理	自動トポロジディスカバリー、物理ネットワークマップ、VLAN ネットワークマップ、IPネットワークマップ
機器の死活監視	SNMP、PING
SNMPバージョン	SNMP v1、SNMP v2c
冗長構成管理※2	EPSRリング
ログイベント管理	イベント/アラーム通知、Syslog
デバイス管理※2	シャーシビュー、コンフィグ管理（アップロード/ダウンロード/差分表示） ファームウェア管理（ファームウェアの導入）、TelnetまたはWebブラウザの起動
資産管理※2	機器種別、IP アドレス、ファームウェアバージョンの表示、ファイルへの出力

【 サポート機種 】※3

SwitchBlade	AT-SBx8112※4、AT-SBx908※4、AT-SBx3112※4 SB-7804S-AC※5、SB-7808S-AC※5、AX-6700-S08※5 AX-6600-S08※5、SB-5402S-AC※5、SB-5404S-AC※5
L3スイッチ	AT-x900-12XT/S※4、AT-x900-24XT※4、AT-x900-24XS※4、AT-x610-24Ts/X※4、AT-x610-24Ts/X-POE+※4、AT-x610-24SPs/X※4、AT-x610-48Ts/X※4、AT-x610-48Ts/X-POE+※4、AT-x600-24Ts※4、AT-x600-24Ts-POE※4、AT-x600-24Ts/XP※4、AT-x600-48Ts※4、AT-x600-48Ts/XP※4、AT-x510-28GTX、AT-x510-52GTX、AT-x510-28GSX、AT-x510-

28GPX、AT-x510-52GPX、8724SL、8724SL V2、8748XL、8748SL

L2スイッチ	AT-x210-24GT、AT-x210-16GT、AT-x210-9GT、AT-x200-GE-52T、AT-x200-GE-28T 9048XL、8316XL、8324XL、8424XL、8424TX GS908M、GS916M、GS924M、GS908M V2、GS916M V2、GS924M V2、GS908M V2-4PS※5 FS808M、FS816M※5、FS909M、FS917M、FS926M、FS909M-PS、FS917M-PS、FS926M-PS IA810M※5
ルーター	ARX640S※5、AR570S、AR560S、AR550S、AR415S、AR260S V2※5、AR260S※5
メディアコンバーター	MC2700※6、MC2602※5、MC2601※5、WD1002※5※6、WD1001※5※6、1300シリーズ※5 (AT-1331-10/80)
無線LAN	AT-TQ2403※5、AT-TQ2450※5
Juniper※9	NetScreen-5XT※5※7※8、5GT※5※7※8、25※5、50、204※5、208、500※5 ISG 1000※5、SSG 5-SB※5、5-SH-BT※5、140※5、320M※5、350M※5、550M SA700※5、2500※5、4500※5、6500※5

- ※1 : 各OSは日本語版のみのサポートです。64ビット版Windowsでは、WOW64 サブシステム (32ビットエミュレータ)上で動作可能です。
- ※2 : サポート機種のみ。
- ※3 : 最新情報は[こちら](#)をご覧ください。
- ※4 : ファームウェアバージョンアップにはライセンスパスワード（保守契約により発行）が必要です。
- ※5 : SNMP による基本的な監視に加えシャーシビューのみ対応です。
- ※6 : 各機器用の管理モジュール（AT-WDM03）が必要です。
- ※7 : 5XT、5GTはそれぞれ5XT Elite、5GT plusを含みます。
- ※8 : 5XT、5GTの4.0.0 Dial FirmwareはTrust-Untrustモードでのみ対応可能です。
（Home-Workモード、Dual-Untrustモード、Combinedモード、Extendedモードはサポートしていません）
また、Serial I/F 利用時（Failover時）はシャーシビューには表示されません。
- ※9 : 別途JNライセンスが必要です。
- ※10 : ログやコンフィグの定時収集を行うなど運用方法によっては別途HDD 容量が必要となる場合があります。
- ※11 : JRE1.7.0_21 は起動時に例外が表示されますがAlliedView NMS の動作には影響しません。JRE1.7.0_25 以上は使用しないでください。